

2月17日(木) ▶ 3月3日(木)

第75回 姫路市美術展

●会場：姫路市立美術館企画展示室 ●休館日：月曜日 ●料金：無料

1946(昭和21)年、第1回展が開催されて以来、本展は兵庫県内で最も古い公募展として今日まで続いてきました。15歳以上であれば国籍、居住地を問わず、どなたでも応募できる開かれた展覧会です。応募作品から入選・入賞作品を公開します。



市役所ロビー展示 (姫路市役所1階)

姫路市美術展優秀作品

●休館日：本庁閉所日 ●料金：無料

1 4月5日(日) ▶ 8月6日(金) 2 8月10日(火) ▶ 12月3日(金) 3 12月6日(日) ▶ 4月1日(金)

オールひめじ・アーツ&ライフ・プロジェクト All Himeji Arts & Life Project

アートはライフ(命・一生・くらし)に溶け込んでこそ真価を発揮します。姫路市立美術館は、アートのプラットフォームとして、海・島・山・森林・田園、ひめじ全域が擁する地域文化をアートの力で市民ライフの糧として再発見するとともに、新たな姫路の魅力を国内外に発信するアートプロジェクトを推進します。

姫路市立美術館では、姫路の二大文化資源である姫路城と圓教寺をつなぎ、有形・無形の文化資源の現代的価値を創出・発信する文化クラスターを形成していきます。2021年度はアートプロジェクトの第一人者で現代美術家の日比野克彦氏をお招きします。



姫路城



書寫山圓教寺

2021年度友の会会員募集中

- 年会費：普通会員3,000円(令和2年度から継続会員 2,000円) 学生会員1,500円(令和2年度から継続会員 1,000円)
 - 常設展・企画展の無料観覧
 - 美術鑑賞旅行など友の会イベントのご案内
 - 美術館内喫茶の割引利用など
- お問い合わせは 友の会事務局へ TEL 079-222-2288

INFORMATION [ご利用案内]

開館時間

午前10時～午後5時(入場は午後4時30分まで)

特別夜間開館日：下記の日は夜8時まで(入場は午後7時30分まで)開館します。
「日本の心象」(7月3日(土)～9月5日(日))会期中の金・土曜日

休館日

毎週月曜日(祝日・休日の場合を除く)
5月6日(土)、8月10日(火)、9月21日(火)、12月25日(土)～1月5日(土)、1月11日(火)

休館のお知らせ

メンテナンスのため、2022年3月4日から3月末まで休館予定です。前庭は開園予定です。(月曜日は除く)

交通

【姫路市立美術館】

鉄道(姫路駅まで)

JR新幹線…新大阪から約30分、岡山から約20分

JR在来線…大阪から在来線(新快速)で約1時間、JR三ノ宮から約40分、岡山から約1時間25分

山陽電車…大阪梅田から約1時間30分、神戸三宮から約1時間

姫路駅から

徒歩約20分
神姫バス⑦または⑩乗り場から乗車約8分、「姫山公園南・医療センター・美術館前」停留所下車すぐ

車(姫路城を目標にご来館下さい)

中国自動車道 福崎I.C.より播但連絡自動車道で砥堀ランプ下車約15分
山陽自動車道 姫路東I.C.あるいは姫路西I.C.下車約15分
阪神高速・姫路バイパス中地ランプ下車約15分
*美術館に駐車場はありません。近隣の有料駐車場をご利用ください。

【日比野克彦イン・レジデンス会場】

書寫山圓教寺へのアクセスは「姫路駅」より神姫バス⑩乗り場から乗車約30分「書寫山ロープウェイ」下車、ロープウェイで約4分(山上駅から徒歩約20分)
<http://www.shosha.or.jp/>



Himeji City Museum of Art

EXHIBITION SCHEDULE 2021-2022



アンリ・マティス 《イカロス》(部分) ([「ジャズ」より])
姫路市立美術館 國富奎三コレクション

Kunitomi Keizo Collection Gallery [常設展示室]



クロード・モネ
《ル・プティ=ジュヌヴィエにて、日の入り》
1874年

通年(休館中を除く)

國富奎三コレクション

近代フランス絵画 モネからマティスまで

近代フランス絵画の中で日本人にも人気のあるコロ、クールベからモネやピサロなどの印象主義からマティスの作品まで、國富奎三氏より寄贈されたコレクションを常時展示しています。

- 休館日：月曜日(祝日の場合は開館し翌平日休館)、年末年始
- 料金：一般210(160)円/大高150(120)円/中小100(80)円
- * ()内は20人以上の団体料金

CALENDAR [美術館カレンダー]

2021	4	5	6	7	8	9	10	11	12
日	4	5	6	7	8	9	10	11	12
月	11	12	13	14	15	16	17	18	19
火	18	19	20	21	22	23	24	25	26
水	25	26	27	28	29	30			
木									
金		1	2	3	4	5	6	7	8
土									
2022	1	2	3	4	5	6	7	8	9
日	8	9	10	11	12	13	14	15	16
月	16	17	18	19	20	21	22	23	24
火	23	24	25	26	27	28	29	30	31
水									
木									
金									
土									

姫路市立美術館

展覧会のご案内



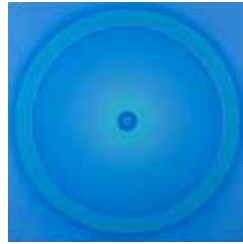
姫路市立美術館

Himeji City Museum of Art

〒670-0012兵庫県姫路市本町 68-25
TEL 079-222-2288 <http://www.city.himeji.lg.jp/art/>



Special Exhibition [企画展示]



小野田寛 (WORK79-BLUE47) 1979年 個人蔵



スタジオの小野田 1960年代後半 撮影:小野田滋子



杉本博司《日本海、隠岐》1987年 © Hiroshi Sugimoto / Courtesy of Gallery Koyanagi



庭園アートプロジェクト風景

《国宝 太刀 銘 国行 (号明石国行) 鎌倉時代 刀剣博物館 (公益財団法人日本美術刀剣保存協会)

4月10日(土) ▶ 6月20日(日)

私のマル 小野田寛展

小野田寛は国際的にも再評価が高まる具体美術協会の会員として知られ、日本の戦後美術を語る上で重要な画家の一人です。1937年に満州に生まれ、終戦の前年に姫路に移って以来終生同地で過ごした小野田は、2008年に生涯を閉じるまで自身の哲学を作品化し続けました。初期から最晩年までの画業を網羅する過去最大規模の回顧展を通じて、今なお雄弁な小野田独自の造形言語「私のマル」を世界に発信します。

- 休館日：月曜日(ただし5/3は開館)、5/6(祝)
- 料金：一般800(600)円/大高600(400)円/中小200(100)円

★全展覧会料金において()内は前売・20人以上の団体料金

7月3日(土) ▶ 9月5日(日)

日本の心象 刀剣、風韻、そして海景

日本の美意識を象徴する刀剣の刃文の美を手掛かりに、日本の風土が培ってきた深淵にして豊穡な心象風景を探索します。「第一章 刀剣の光陰」では、国宝「明石国行」はじめ国内の名刀約50口を紹介し、多様で奥深い刃文の美をひもときます。「第二章 風韻、そして海景」では、現代の刀匠と鍛冶師・明珍兄弟による刀剣とたまはがね風鈴によるインスタレーションをプロローグとして、人間存在についての思考を写真で表現する現代美術家・杉本博司の写真作品「海景」シリーズを展覧します。「第三章 たまはがねの響」は城・美術館・庭園が一体となる唯一無二の景観を演出する庭園アートプロジェクト。明珍火箸「たまはがね風鈴」の音色を素材として菅野由弘によって作曲された「星雲光響2021」がパラメトリック・スピーカーを通じて生み出す立体的音響空間に光のインスタレーションが重なる芸術体験をお楽しみ下さい。

- 休館日：月曜日(ただし8/9は開館)、8/10(祝)
- 料金：一般1200(1000)円/大高600(400)円/中小200(100)円

通年/日比野克彦イン・レジデンス@書寫山園教寺

「明後日のアートの学校⇒町も海も山も寺も城も人もつながるプロジェクト」



上左/書寫山園教寺摩尼殿 ©書寫山園教寺/SHOSHAZAN ENGYOJI TEMPLE
上右/新潟県十日市筋平にて廃校になった小学校でのプロジェクト風景 ©HIBINO Katsuhiko
下/日比野克彦《TANeFUNe》 ©HIBINO Katsuhiko

「総合芸術の聖地」書寫山園教寺を拠点とした公開制作により制作過程そのものも鑑賞の対象とし、参加体験型のワークショップやレクチャーを展開します。本年度は日比野克彦氏の代表的アートプロジェクト《明後日朝顔プロジェクト》とともにユニークな学校を開校します。

*イベント等詳細については美術館HPをご確認ください。

● 園教寺拝観志納金が必要です。



日比野克彦《SWEATY JACKET》1982年 岐阜県美術館 ©HIBINO Katsuhiko



日比野克彦氏



アンリ・マティス《イカコス》(部分)〔「ジャズ」より〕 姫路市立美術館 國富奎三コレクション

9月18日(土) ▶ 11月7日(日)

日比野克彦展 「明後日のアート」

あらゆる垣根を超えて、地域と地域、人と人がつながるアートプロジェクトを展開し、国際的に活躍する現代美術家、日比野克彦。全国各地で展開する《明後日朝顔プロジェクト》を軸として、日比野がアートで拓く未来像を探ります。

- 休館日：月曜日(ただし9/20は開館)、9/21(祝)
- 料金：一般1000(800)円/大高600(400)円/中小200(100)円

11月20日(土) ▶ 1月16日(日)

ザ・ミュージアム・コレクション・ミーツ・ヒビノ The Museum Collection Meets HIBINO 「展示室で会いましょう」

日比野克彦と美術館学芸員の協働により姫路市立美術館コレクションと日比野作品とのコラボレーションを展開。既存の解釈や価値の更新そして新たな創造を試みます。

- 休館日：月曜日(ただし1/10は開館)、1/11(祝)
- 料金：一般700(500)円/大高400(200)円/中小200(100)円

私のマル 小野田寛展

日本の心象 刀剣、風韻、そして海景

日比野克彦展 「明後日のアート」

The Museum Collection Meets HIBINO 「展示室で会いましょう」

庭園アートプロジェクト—音と光のインスタレーション たまはがねの響

2021 3

4

5

6

7

8

9

10

11

12

2022 1

2

3

.....(休館中).....

具体美術協会の作家たち

ベルギーの作家たち

新収蔵品を中心に

森崎伯霊—ふるさとを描いて—

鉄の技と美II—姫路市立美術館の刀剣—

.....(休館中).....

國富奎三コレクション 近代フランス絵画 モネからマティスまで

日比野克彦イン・レジデンス「明後日のアートの学校⇒町も海も山も寺も城も人もつながるプロジェクト」

.....(休館中)..... ● 第75回 姫路市美術展

Collection Gallery [コレクションギャラリー] ● 料金：無料

4月10日(土) ▶ 6月20日(日)

具体美術協会の作家たち

具体美術協会の画家たちの作品を紹介します。「今までになかったものを創れ」という吉原の提言のもと制作された、時代の先を行く作品を紹介いたします。



元永定正《作品》1961年

6月26日(土) ▶ 9月5日(日)

ベルギーの作家たち

19世紀から現代までの象徴主義や表現主義の作品から、シュルレアリスムの作品まで、当館が所蔵するベルギーの近現代美術をご紹介します。



フェルナン・クノッフ 《女性習作》1900年頃

9月11日(土) ▶ 11月7日(日)

新収蔵品を中心に

令和元年度以降に当館で購入・受贈した新収蔵作品より、初公開となる作品を中心に展覧します。



松井紫朗 《センス・オブ・ワンダーの庭 イメージ・ドローイング》2018年 ©2021 MATSUI Shiro

11月13日(土) ▶ 1月16日(日)

森崎伯霊—ふるさとを描いて—

森崎伯霊は、郷土・姫路に根ざし、農業のかたわら絵筆をとり続けた日本画家です。その作品は自然豊かな里山を牧歌的に描いたものが多く、ふるさとへの温かなまなざしを感じられます。館蔵の伯霊作品を一堂に展覧しその魅力をお伝えします。

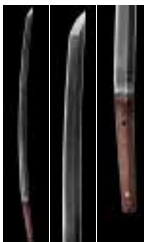


森崎伯霊《朝の月》1973年

1月22日(土) ▶ 3月3日(日)

鉄の技と美II —姫路市立美術館の刀剣—

刀剣は、独特の美と限りない魅力を持った芸術品です。姫路市立美術館の刀剣を紹介する第2回目の本展では、寄贈された館蔵品の逸品を紹介いたします。



《刀 無銘 伝古三原》南北朝後期